

2004年2月24日

株式会社森精機製作所

上海交通大学と共同で「製造技術応用センタ」を設立

株式会社森精機製作所(本社:奈良県大和郡山市、社長:森雅彦、以下森精機)は、かねてより技術交流のある上海交通大学と共同で、「製造技術応用センタ」を大学内に設立し、当センタへ機械2台を寄贈いたしました。2月21日(土)に、現地にて調印式を行い、今後、中国での金型加工の研究開発と人材開発を促進していきますので、以下のとおりお知らせします。

センタ名: 「上海交通大学 森精機製作所 製造技術応用センタ」

大学名: 上海交通大学 (中国 上海市内)

上海交通大学は、国家教育部に直属する重点大学であり、教育部と上海市によって共同で建設された理、工、管理学部を中心に人文社会科学、農学部なども持つ総合的な大学である。1896年に南洋公学として創立され、中国における歴史の最も古い大学の一つである。開校以来一世紀に江泽民国家主席など数多くの人材を世に送り出してきた。

在学の本科生は14000人、大学院生は4000余人。

寄贈機: 立形マシニングセンタ SVD-503/40 2台

開所式: 2004年2月21日(土)
参加者約70名(当社より社長の森、取締役の藤嶋が出席)

センタ設立目的:

- (ア) 上海交通大学で行っている金型加工の研究開発を援助する。
- (イ) 中国での人材開発に協力する。
- (ウ) 上海交通大学との関係を強化する。
- (エ) 中国ビジネスでの協力関係を構築する。

経緯:

中国の金型加工研究者の第1人者である、上海交通大学のRuan教授

Xueyu Ruan教授

Academician.Chinese Academy of Engineering

Director of Dept.of Plasticity Technology of Shanghai Jiao Tong University

Director of National Die&Mold CAD Engineering

Research Center of Shanghai Jiao Tong University

と、4年前から交流が始まったことにより、今回、上海交通大学との間で、当センタを設立し、主として金型の切削加工研究用として機械2台を寄贈するに至りました。今後は、当社からエンジニアを定期的に派遣して研究支援や研究成果の応用に展開していくほか、2ヶ月に1回程度、お客様を招待して金型のセミナーを実施していく予定です。また、上海交通大学との間で、ソフトの共同研究も開始しております。

当社は今年、従来の上海テクニカルセンタに加え、北京、天津、大連、シンセン、トンガンにテクニカルセンタを設立し、中国でのビジネス展開を進めておりますが、大学との連携も強化することで、更に中国でのビジネスを積極的に展開していきます。

以上